

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
 地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

も く じ	□障害福祉の人材育成事業を新設・・・2P	□日本福祉大学生と地域の取り組み・・・3P
	□外国人介護人材確保に関する会議・・・2P	□NHKあさいちで、NPO法人りんりんの取組・・・3P
□5市5町に聞く新地域支援事業・・・1P	□子ども支援者のためのABC・・・2P	□NPO担当若手職員リレー・・・3P
□中学生レストラン・・・2P	□サービスラーニング 活動報告・・・3P	□インフォメーション・・・4P

## 5市5町に聞く新地域支援事業

	協議体設置案	生活支援サービス案	コーディネーター案
大府市	検討中	検討中	検討中
東海市	生活支援介護予防部会を基本に移行	地域支え合い活動団体の活動の充実と新規開拓	社協
知多市	NPO・社協・行政で連携	NPO・社協・行政で連携	NPO・社協・行政
常滑市	27年度は「保健福祉対策調整委員会介護保険部会」、28年度以降は未定	未定	未定
半田市	28年度2層圏域で設置予定	28年計画、29年予算化	未定
東浦町	未定	未定	行政
阿久比町	27年要綱整備28年設置予定	28年計画、29年予算化	未定
武豊町	28～29年度設置検討中	未定	行政
美浜町	調査検討中	未定	未定
南知多町	未定(地域ケア会議移行を検討)	未定	包括

介護保険改正後、要支援1・2に対し新しい生活支援サービスが市町ごとに実施されることになっています。知多地域5市5町が参加した昨年度の「0～100歳の地域包括ケア」円卓会議後、各市町の体制整備はどのように進んでいるか、ヒアリングを行ないました(上記表)。

現時点では「未定」が多くある中、協議体やコーディネーターにNPOが関わっていく市町もあります。今後は学区などの行政区ごとに、円卓会議(ネットワーク会議)、学習会、生活支援サービスの担い手育成、居場所づくり、コーディネーター育成、グループ化を行い、資源開発とネットワーク化、1層に集約する多重多層ネットワーク化が必要となります。コーディネーターを支援するボランティアセンターや市民活動センターの出

番もこれからですが、エリアを大小さまざまに設定し、NPOの実践を生かす取り組みが求められています。

南知多町では、学区円卓会議を予定。昨年の円卓以降、毎月1回の実行委員会を継続している東浦町ボランティアグループ「チームにじ」では、町内介護施設と福祉医療事業者、シルバー人材センター、老人クラブ、サロン、ボランティア、NPOが一堂に会するイベント「シルバークフェスタ」を行ないます(4面)。「新しい総合事業成功のポイントは信頼性・継続性といった面からもNPO法人の関わり方だ」と語ったのは半田市ですが、協働で進める「0から100歳の地域包括ケア」のまちづくりを、まずは高齢者生活支援のしくみづくりから知多地域の各市町で進行中です。(岡本)

## ■星槎名古屋中学校 中学生レストラン



調理に追われながらも、よいチームワークを見せ、積極的に接客する姿みられた。

8月4日(火)、5日(水)の2日間、星槎名古屋中学校料理部の生徒たちがAda-codaで「中学生レストラン」を開店した。同校は不登校の生徒のため、平成24年に開校された私立校。昨夏、本法人主催の講座で安部雅昭校長に講師を依頼したご縁で実現した。調理師免許を持つ安部校長指導のもと、23人の部員が3年生を中心に前日の準備班、当日の準備班、配膳班に分かれて活動した。

メニューは、ロコモコ丼、蒸し鶏のマリネ、パンケーキなどの洋食ランチ(4日)、おからハンバーグ、筑前煮、冷やしぜんざい(5日)などの和食ランチ。両日も1日30食限定ですべて完売した。

来店客からの「とても美味しかった」の声に、生徒たちは「うれしい」「やってよかった」と笑顔で応えていた。(安藤)

## ■障害福祉の人材育成事業を新設

これまでの行動援護従業者養成研修(以下、行動援護)に比べ、短時間で障害理解につながる研修として強度行動障害支援者養成研修基礎研修(以下、強度行動障害基礎)を新たに開設します。(五十嵐)

### 【内容】

一人ひとりの障害特性を理解して「できること」に着目した支援方法や、基本的な情報収集と記録等の共有、支援計画シートに基づいた支援方法を学びます。

### 【強度行動障害基礎と行動援護の比較】

	受講対象者	日数(時間)	受講料
強度行動障害基礎	一般(未経験可)	2日(12h)	15,000円
行動援護	ヘルパー2級・初任者研修修了者。実務経験1年以上	4日(24h)	30,000円

### 【制度改正のポイント】

- ◎行動援護サービスは平成30年4月1日から資格取得が必須となります。
- ◎施設入所・グループホームの夜間支援において強度行動障害基礎修了者は加算の対象です。
- ◎愛知県では行動援護修了者は強度行動障害(基礎・実践)の修了者とみなされます。

## ■外国人介護人材確保に関する会議

「技能実習制度」の期間延長や介護分野への解禁などが盛り込まれた法案が、今国会で通過する見込みであり、ちた地域でも社会福祉法人が人材確保のため、準備を始めている。在住外国人向け初任者研修を検討していた本法人では、関係者会議を6月10日、7月8日、8月19日の3回開催。日弁連の「技能実習制度の廃止を求める意見書」(2013)などによると、技能移転という制度の本来の趣旨と実態がかい離し、人権侵害が横行している場面も多くあるといわれるこの制度。活用の際し、外国人の働く環境と生活の基盤を整え、「誰もが自分らしく暮らせる地域づくり」という理念に、在住外国人を包摂する意識を持つべきとの観点で、情報共有を行っている。(岡本)

## ■子ども支援者のためのABC



3日目の講座では、自分の得意を持ち寄り、寄ってそこからできることを見つけていくワークショップを行った。

8月10日(月)～12日(水)の3日間、今年度も「子ども支援者のためのABC」を開催した。3日間で延べ51人の参加があり、子どもの支援にかかわる人たちが、学校の現場

における現状を知り、支援が必要な子どもたちに対して適切な対応をするための基本的な知識を学び、課題を共有した。今年度は、学生の参加もあり、熱心に講師の話に耳を傾けていた。

1日目は、日本ディスレクシア協会名古屋代表吉田やすえ氏から、発達障がい、特に学習障がいについての基本的な知識を学び、ワークショップでは視覚認知と聴覚認知の違い等を体験した。

2日目の講師は、東海市教員研修センター教育相談員の浅田謙司氏(教員退職者)。教育現場のユニバーサルデザインについて具体的な話を伺い、午後からは浅田氏を中心に、いろいろな立場の受講者が活発にフリートークをした。

3日目は、日本福祉大学福祉学部准教授の野尻紀恵氏から、子どもの貧困の話題を含み、学校を中心としたネットワーク作りについて学んだ。

保育や学校関係者、教員志望の学生など参加者の交流及び意見交換の場となり、参加者からは「実践のヒントを得るよい機会になった」と好評であった。

(海老原)

## ■サービ斯拉ーニング 活動報告

本法人の会員団体を中心とした地域のNPOに、日本福祉大学社会福祉学部のサービ斯拉ーニング(以下、SL)学生が現場入りしている。

学生は、前期授業での活動先選択、担当者との顔合わせ、6日間の活動計画等を経て、それぞれの活動を行っている。

SLでは、「失敗」の経験も学生にとって大切な学びとして位置づけられ、その失敗から何を学び、どのように今後に生かすことができるかが、学生にとっての大きな成長につながる。

SLにおける「市民性」は、地域の人や資源なくして育まれない。学生の学びが大学内で完結してしまうことが多い中、受け入れNPOが多数存在するちた地域ならではの教育プログラムである。

8月27日(木)に行われた、NPO法人ひだまり(半田市)での活動では、学生の流しそうめん企画に、半田市を中心に活動している市民活動団体「竹炭の会」が協力。日本福祉大学の地域連携コーディネーターの紹介で竹炭の会とつながり、帰りには激励の言葉をもらい、学生が涙ぐむ場面も見られた。

流しそうめん実施までに大変だと感じたことは?という質問に、学生は「自分たちの思いだけではうまくいかず、いろんな人に相談したり、調整することが大事。1年生のときとは違う視点で物事を見るようになった」と答えた。

後期は活動の振り返りをし、活動の中で疑問に思ったこと、さらに深めて学びたいと思ったことをテーマに、研究を行う。12月には、活動先の担当者を大学に招き、活動報告を行う予定。(新保)

## ■日本福祉大学生と地域の取り組み

日本福祉大学のキャンパスがある美浜、半田、東海、3つのエリアを中心に、学生が地域の企業や団体と協働して取り組む動きが増えてきた。

一例として、美浜では、美浜町商工会青年部と、社会福祉学部有志の学生が協力し、10月18日(日)に美浜町総合体育館メイン・サブアリーナで、「MIHAMA F-es in2015 地域の魅力発掘市」を行う。地域の活性化、美浜町と大学、学生の繋がりを育む第一歩を目的に開催し、職業体験ブース、フリーマーケットブースを設置する。(新保)



手が届く範囲を考えて座る場所を案内し、利用者のペースに合わせて流しそうめんを楽しんでもらった。(NPO法人ひだまり)

## ■NHKあさイチで、NPO法人りんりんの取組

NHK情報番組「あさイチ」(毎週月曜～水曜、8時15分～9時45分放送)で、8月19日(水)に本法人会員NPO法人りんりん(半田市)が取り上げられた。

高齢者の一人暮らしには部屋の掃除等様々な苦労があるが、介護認定を受けていない高齢者では訪問介護サービスを利用することができない。

番組では、介護保険では対応できない暮らしの悩みに柔軟に対応している、NPO法人りんりんのたすけあいサービスに注目し、「どう選ぶ? ついのすみか」という番組に仕立てた。一人暮らしの高齢者を訪ね日常の困りごとを手助けしていた、発足当初の映像も放映された。(インターン 草野)

### NPO担当若手職員リレー

#### 犬山市生活環境部地域活動推進課

地域活動担当 主事 田原尚舞さん



生まれも育ちも犬山市、住み慣れた町に関わりながら仕事がしたいと思い、入庁して4年目になる。担当課になってから、市内でもその地域ごとに人間性や生活習慣の違いがあることを知った。

4月の桜が咲く頃、城下町の住民は総出で車山(やま)を曳き、小学生は太鼓を叩き、中学生は笛を吹く。子どもの頃から、犬山祭や地域の活動に参加していたが、入庁し、たくさんの方の市民活動を見てきた中で印象的だったことは、「まちづくりに対してアツい人がこんなにいる」ということだった。

犬山市では、平成13年に「犬山市民活動支援条例」が県内でも早い段階で制定され、拠点、情報、資金に関する支援をしている。制定から10年以上が経過し、時代に合った見直しの必要性が生じており、助成部門の1つ、コラボ・マッチング部門では、市民活動団体による協働の事業を実施する際の支援として平成24年から新設した。

表面的な支援ではなく、活動団体の想いを汲み取り、困りごと、状況に合わせて団体に丁寧寄り添うような市民活動支援をしたいと語った。

(新保)

☆\*☆.. \* . ☆:\* \* \*:° .. ☆.. \* ☆:\*..

### 新会員紹介 ☆ご入会ありがとうございます

【正会員/団体】 一般社団法人つどい 様

【正会員/団体】 NPO法人あいちNPO

市民ネットワークセンター 様

☆\*:\*.. \*☆.. \* . ☆:\*.. \*☆° :° .. ☆



# サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

## ■絆まつり ～縁・むすび～

今回のテーマは“縁・むすび”。昭和の雰囲気たっぷりの会場では、美味しい・楽しい催し物をご用意してお待ちしています。

〈日時〉9月5日(土) 11時～14時

〈場所〉NPO法人絆(東浦町緒川北赤坂35番地の1)

※出来るだけ乗り合わせてお越しください。

〈内容〉餅つき大会: 11時半、12時半、13時半 模擬店: ライスカレー、焼きそば、やきとり、かき氷、甘味など ゲーム: 射的、竹細工など 学生企画: 昔遊び、癒しコーナー

〈問合せ〉(N)絆 ☎0562-83-7563

## ■日本福祉大学・藤田保健衛生大学

### 包括連携協定 キックオフシンポジウム

医療と地域ケアの連携に関する“地域包括ケア”の推進にかかわる多職種連携の課題を、それぞれの大学研究者からの報告に基づき検討を深める。

〈日時〉9月12日(土) 13時～16時半

〈場所〉日本福祉大学東海キャンパス C201教室

〈申込〉①HPから <http://www.n-fukushi.ac.jp/>

②FAX 0569-87-2292

〈問合せ〉日本福祉大学 企画政策部

☎0569-87-2430

メール [k-event@ml.n-fukushi.ac.jp](mailto:k-event@ml.n-fukushi.ac.jp)

## ■来て・見て・遊べる シルバーフェスタ

東浦のまちをもっとステキにしたい!と活動している多職種連携ボランティアグループ「チームにじ」の初イベント。年をとっても楽しく、自分らしく暮らしていくためのヒントがいっぱいです。どなたでもご自由に、遊びにいらしてね。

〈日時〉9月19日(土) 10時～15時

〈場所〉東浦町文化センター

〈内容〉何でも相談コーナー: まちの保健室、健康診断 体験コーナー: 耳つぼマッサージ、変身写真、さをり織り、ミニサロン、健康体操 その他: オレンジ劇団、音楽喫茶、リサイクルバザー

〈問合せ〉東浦町総合ボランティアセンターなないろ内  
ボランティアグループ「チームにじ」

☎0562-51-7697

## ■サロン指導者養成講座

介護保険改正に伴う「サロン」づくりについて、とくに福祉施設内での開設に関する学習会を3会場で開催する。講師は全国生涯学習まちづくり協会理事長福留強氏。

〈日時・会場〉各回9時半～17時

①10月22日(木) 介護付有料老人ホーム

ラ・プラス ヒルトップ

②11月14日(土) 愛知県社会福祉協議会 第2研修室

③11月25日(水) 昭和生涯学習センター

〈受講料〉10,000円(昼食付)

〈問合せ〉(一社)福祉事業総合支援センター

☎090-1623-0102

## ■参加者募集! ゆめフル日帰りバスツアー

榎原神宮を拝観、談山神社の紅葉満喫の旅。柿の葉寿司の昼食付き。

〈日時〉11月21日(土) 〈集合場所〉武豊町中央公民館

〈参加費〉会員7,000円 会員以外8,000円

(大人・子ども同一料金) ※最少催行人数40名

〈申込問合せ〉(N)ゆめフルたけとよスポーツクラブ

☎0569-84-1100

## ■スタッフ募集

発達しょうがいをお持ちのお子さんにABA(応用行動分析)を中心とした個別・集団療育や家族支援、学習会を行っています。詳細は下記ホームページをご覧ください。

〈時給〉900円～ ※非常勤 〈資格〉保育士ほか(要相談)

〈HP〉<http://paka-paka.net/>

〈メール〉[office@paka-paka.net](mailto:office@paka-paka.net)

〈問合せ〉(N)PakaPaka ☎0569-77-0492

## ■第4回ベティ基金助成先募集

株式会社RandTカンパニーより預託され昨年12月にベティ基金設立、知多半島の障害者支援活動団体を応援する。

〈助成金額〉1団体につき8万円 〈助成件数〉4団体

〈内容/対象〉制度外の障害児者支援の取組を行なう団体

〈支払時期〉平成28年1月(予定)

〈申込問合せ〉NPO法人地域福祉サポートちた(担当:江端)

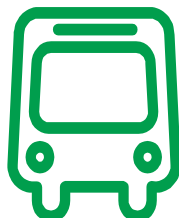
## NPO現場見学バスツアー 第140弾

～NPO・行政・地縁との連携～

【平成28年2月23日(火)】

定員26名(先着順)

参加費5,200円(昼食代別途)



オプションバスツアーは随時受付中です。  
あなたの目的に合わせてプランニングします!  
(担当:新保)



特定非営利活動法人  
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1  
知多市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631  
Fax 0562 (33) 1743